

# 三重の水田農業戦略2020の概要

## ～持続可能なもうかる水田農業の実現に向けて～

### 1 戦略の基本的な考え方

#### (1) 戦略策定の趣旨

水田農業を取り巻く環境や社会情勢の変化、これまでの戦略の実行による成果や課題等を踏まえた上で、新たな戦略を策定

#### (2) 戦略の位置づけ

「持続可能なもうかる水田農業」の実現に向け、生産者、関係の事業者や機関等が共通認識を持って、**本県水田農業の発展に向けた取組を進めるための指針**としての位置づけ

#### (3) 戦略の計画期間

令和2年度～11年度 ※基本的には、概ね5年毎に見直すこととするが、水田農業を取り巻く情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて、適宜、見直す。

### 2 本県における水田農業の現状(これまでの成果と課題)

#### (1) 水田作物を売るための環境づくり

##### <成果>

- 「結びの神」・「伊賀米」等の**県産ブランド米の販路拡大**
- 国が育成した品種など、**業務用米の取引の拡大**
- 「みのりの郷」など、**マーケットイン型の新品種開発**
- 「あやひかり」など、**県産麦の利用の拡大**

##### <課題>

- ブランド米や業務用米等の販路の拡大**



#### (2) 生産力・収益力のある水田作物づくり

##### <成果>

- 小麦単収の向上**や**新たな排水技術の開発**
- 稲作農家のGAP認証取得の拡大

##### <課題>

- コシヒカリの**1等米比率の向上**など米の品質向上
- 需要に的確に対応した**麦・大豆の生産振興と単収の向上**



#### (3) 持続的に発展する水田農業基盤づくり

##### <成果>

- 農業法人などの**経営規模の拡大**
- 集落営農の**組織化**や**法人化の進展**
- ほ場の大区画化など**基盤整備の進展**

##### <課題>

- 農業経営体への**農地のさらなる集積・集約化**
- 地域水田農業を支える**家族農業等の継続、後継者への継承**
- 米以外の作物推進のための**基盤整備の促進**



### 3 水田農業を取り巻く環境の変化と新たな課題

- ・人口の減少と高齢化に伴う、担い手不足の進行  
→**農業法人等の経営体の育成のみならず**、水田農業を支える**小規模な家族農業の継続**が重要
- ・**Society5.0やSDGsなど社会潮流の変化**  
→**スマート農業技術の実装と多様な担い手の活躍を促進する体制の構築**が必要
- ・**主食用米の需要量の減少と安全・安心なニーズ等のさらなる高まり**  
→需要量の減少や、**GAP、有機栽培**など消費者の**安全・安心ニーズへのさらなる対応**が必要
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による新常態のもとでの対応  
→**ネット通販での購入**や**中食需要の拡大に的確に対応**していく必要
- ・自然災害に備えた、防災・減災対策の強化  
→**農業用ため池・排水機場の豪雨・耐震化等のハード対策**と、BCP策定など**ソフト対策**が必要

### 4 本県水田農業のめざすべき姿

本県の**持続可能なもうかる水田農業の姿**として、

- (1) 消費者や実需者の**ニーズに的確に対応した水田作物が生産**されている姿
- (2) 県産**水田作物がその特性などを生かして、継続・安定的に販売**されている姿
- (3) **多様な担い手により、水田農業が持続的に展開**されている姿
- (4) 農業経営体が**水田農業を展開する上で、必要な生産環境が整備**されている姿



### 5 戦略の基本的な取組方向と具体的な取組内容

| 基本的な取組方向                   | 目標指標                                    |                | 具体的な取組内容   |
|----------------------------|---|----------------|--|
|                            | 現状 (R1)                                 | 目標 (R11)       |  |
| (1) 水田作物の生産対策(商品づくり)       | 県産米の1等米比率<br>32%                        | 70%            | ①収量・品質の向上に向けた技術対策の徹底<br>・ <b>1等米比率の向上に向けた施肥・防除・土づくり・水管理技術の徹底推進</b><br>・麦・大豆における <b>新たな排水対策の導入</b> 支援<br>②需要に対応した品種の導入<br>・品質の高い「 <b>結びの神</b> 」や <b>業務用向け品種の作付拡大</b> 推進<br>③水田における高収益作物の導入<br>・水田農業高収益化推進計画等に <b>基づく野菜、ゴマ等の作付促進</b><br>④米の需給均衡を図るための生産調整体制の充実                               |
| (2) 水田作物の販売対策(販路づくりとブランド化) | 需要に対応した戦略的米品種の販売数量<br>10,017t           | 15,000t        | ①県産米の戦略的なプロモーションの展開<br>・品種の特性に合わせた <b>明確なターゲットへの販売促進</b><br>②需要の変化への <b>的確な販売対応</b><br>・新常態のもとでの、 <b>中食等の業務用への対応強化</b><br>・ <b>ネット通販等</b> の取組への支援<br>③国際認証などを生かした取引の拡大<br>・ <b>国際水準GAP</b> や <b>有機JAS</b> の <b>認証取得と販路開拓</b> への支援<br>④需要に対応した米の品種開発<br>・栽培しやすく、多収で良食味の <b>業務用向け等品種</b> の開発 |
| (3) 水田農業の生産体制の確立(担い手づくり)   | 効率的かつ安定的な主穀中心農業経営体等数<br>1,299経営体 (H30)  | 1,400経営体 (R11) | ①地域水田農業の核となる農業経営体の育成<br>・「人・農地プラン」の実質化に向けた <b>集落の話し合い</b> の活発化<br>②小規模な家族農業の継続に向けた支援<br>・家族農業 <b>後継者等の栽培技術などの習得</b> に向けた支援<br>③多様な人材を取り込んだ水田農業の実現<br>・地域の <b>若者、女性、障がい者などの参画</b> 促進<br>・半農半X、ワンディワーカーなど <b>新たな人材の活躍</b> 促進   |
| (4) 水田農業の生産基盤の整備(環境づくり)    | スマート農業技術(ほ場管理システム)を導入している経営体数<br>244経営体 | 1,000経営体       | ①スマート農業技術の実装促進<br>・ドローン、ほ場管理システムなど <b>スマート技術の導入</b> 支援<br>②土地基盤と防災・減災に向けた農業用施設の整備推進<br>・ <b>ほ場の大区画化</b> や <b>汎用水、農業用水のパイプライン化</b> の推進<br>・ため池等農業用施設の <b>ハード・ソフトによる防災・減災対策実施</b><br>③米、麦、大豆の優良種子の安定供給   |

### 6 注力するプロジェクトの連携推進

